

信州やまなみ国スポ富士見町実行委員会設立趣意書

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにする目的として開催されます。

長野県においては、昭和53年に「日本の屋根に手をつなぐ」をスローガンに第33回「やまびこ国体」が開催されました。その成功は県民に自信と誇りをもたらし、本県のスポーツ振興の大きな礎となるとともに、スポーツの感動を世界に発信した長野オリンピック大会の原動力にもなりました。

このような中で、令和10年度に長野県で開催される第82回国民スポーツ大会において、富士見町で正式競技として「自転車競技(ロード・レース)」、デモンストレーションスポーツとして「ボッチャ」がそれぞれ開催されることは、富士見町のスポーツへの関心を高めるとともに、スポーツを通じた交流人口の増進が図られ、大会実施後も自転車やボッチャを通して町の活性化につながるものと期待しています。

また、八ヶ岳や南アルプスに囲まれた豊かな自然、歴史や伝統に培われた文化など富士見町の魅力を伝える絶好の機会でもあります。

このような意義ある大会を成功に導くために、町民、各種関係団体及び行政機関からなる「信州やまなみ国スポ富士見町実行委員会」を設立し、富士見町民の総力を結集して、所期の目的を達成しようとするものです。

令和7年12月12日